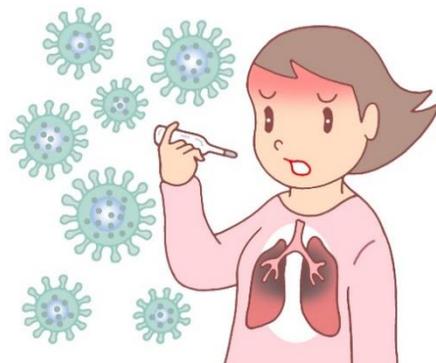


「埼玉県公営住宅等見守りサポーター通信」 No.15

新型コロナウイルスの影響により、不要不急の外出は控えるような外出自粛の呼びかけがあり、みなさん部屋の中にいる時間が増えていると思います。

このような時こそ、ひとり暮らしの高齢者の方などには見守りサポーターが見守り、ご近所同士声をかけあっていただくようお願いいたします。



《見守りサポーターの活動紹介》

昨年の猛暑時、新聞が2日間たまっていたために異変を感じ、隣室の友人が、部屋に倒れて意識不明となっていた70歳代の高齢単身の男性を救命したという事例がありました。

この男性の隣人の方は、日頃から交流があり、合鍵を預けており、救命することが出来たということでした。

日常からの見守りのご協力、ありがとうございました。

【県営住宅課・管轄支所】



○夜になってもベランダにせんとくものが干したままである。

○幾晩も続けて屋内に電灯が点灯しない。

○日中、電灯が点灯したままである。

○玄関や郵便受けに新聞や郵便物が数日間たまっている。

異変

を察知したら、所轄支所へ通報をお願いします。

よろしく
お願いします。



埼玉県マスコット「コバト」

【見守りサポーターについてのお問い合わせ先】

〒330-8516 さいたま市浦和区仲町3丁目12番10号
埼玉県住宅供給公社 公営住宅部 県営住宅課
電話 048-829-2875 FAX 048-825-1822
<http://www.saijk.or.jp/>